

【緊急】オンライン資格確認のトラブル実態調査（第2弾）のお願い

前略 日夜、地域医療へのご尽力に敬意を表します。4月からオンラインによる資格確認が実施できるよう体制整備が義務化されましたが、あまりにも拙速な導入であった為、運用を開始した医療機関（8437件）のうち、65.1%（5493医療機関）でトラブルが発生しています。また、マイナ保険証による受診が数%と言われるなかでも、最初の窓口で資格確認や負担割合の相違等が判明し、その確認で業務が滞るなど混乱が生じています。

和歌山県保険医協会では、医療のデジタル化について一律に反対するものではありませんが、マイナ保険証による資格確認など窓口業務で患者や医療機関に過重な負担等が生じないように、会員の声を基に政府へ要望します。何卒、ご協力をお願いいたします。 草々

【アンケート回答要領】 ご協力頂ける場合、8月末までにご返信願います。

*下記の項目についてご記入頂き、以下の全国保険医団体連合会 事務局までFAXにてご返信ください。

返信FAX宛先 050-3090-9643 又は 03-6276-0033

*ご回答内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

*導入していない、導入できていない医療機関でも答えられる部分は限られているかも知れませんが、よろしければご協力をお願いいたします

(該当する項目にをお願いします)

【問1】 医療機関の所在地（和歌山県 市・町・村）

【問2】 区分 医科診療所 歯科診療所 病院

【問3】 6月の診療状況についてお聞きします。マイナ保険証で資格確認し、確認できた患者の一日の件数は何件くらいですか。また、その割合は、一日の概ね何%ですか。

一日（ 件）で、一日の概ね（ %）

【問4】 マイナ保険証の患者への対応で、新たに受付業務は増えましたか、減りましたか。

増えた 減った

【問5】 「問4」で「増えた」と答えた方にお聞きします。

どのような業務に時間や人手がかかりましたか。（複数回答）

患者への説明 カードリーダー等の機器の操作補助 エラー時のベンダーとの対応

資格の確認作業 公費医療（子ども医療費、生活保護等）の確認・入力作業 その他

【問6】 70歳以上の高齢者でオンライン資格確認の画面の「負担割合」と健康保険証の券面の「負担割合」に相違があったとの報告があります。このような事例はありましたか。

あった なかった

【問7】 問6で「あった」と答えた方にお聞きします。件数と内容を記載ください。

（ 件）

（具体的に：)

【問8】 厚労省は8月からマイナ保険証利用による資格確認ができない場合、患者に「資格申立書」を記載させるとの新たな対応を示しました。お考えをお聞かせください。（複数回答）

健康保険証の持参で十分 患者へ書かせるべきではない 患者とのトラブルを懸念

受付の対応が増える わからない

【問9】 オンライン資格確認システム運用上のトラブルに関して、これまで報道されていないような事例等あればご記載ください。

[例：読み仮名や住所がちがう、そもそもデータがない、年齢からあり得ない負担割合が表示された、など]

（)

【問10】 政府は2024年秋に健康保険証を廃止する方針ですが、保険医協会・保険医会は現行の健康保険証の存続を求めています。健康保険証を残す必要があると考えますか。

必要 必要ではない

※お問い合わせは協会事務局（電話：073-436-3766）まで ご協力ありがとうございました。

※ご協力いただいた回答について、マスコミを含め内容についてお尋ねしてもよい場合は、ご記入をお願いいたします。

医療機関名

お名前

電話番号